

## 医療用抗原検査キットを使用される方へ

### 1 基本的な考え方

- ・医療用抗原検査キットは、体調が気になる場合等セルフチェックとして使用してください。
- ・無症状の方の使用は推奨されていません。
- ・家族等による検体採取は感染リスクがあることから、自ら採取することが可能な方が使用してください。
- ・あらかじめ検査に関する注意点、使い方等を十分理解し、検査を実施してください。
- ・体調が悪化し、緊急の場合は救急車を呼んでください。

### 2 一般的な検査手順と留意点

#### <検体採取(鼻腔ぬぐい液の自己採取)>

- ① 鼻孔(鼻の穴の入り口)から 2cm 程度綿棒を挿入する
- ② 綿棒を鼻の内壁に沿わせて 5 回程度回転させる
- ③ 5 秒程度静置し、引き抜く
- ④ 綿棒が十分に湿っていることを確認する

※同居人等がいる場合は、被験者は、他者と向き合わない方向を向くか、他者とガラス等により隔てられた位置に移動して実施します。

※鼻咽頭(鼻の奥)ぬぐい液の自己採取は危険かつ困難であるため、自ら抗原検査を行う場合は鼻腔(鼻の穴)のぬぐい液を用います。

#### 鼻腔ぬぐい液採取



#### <試料調整>

- ① 採取後ただちに綿棒をチューブに浸す
- ② 綿棒の先端をつまみながら、チューブ内で綿棒を 10 回程度回転させる
- ③ 綿棒から液を絞り出しながらチューブから綿棒を取り出し、綿棒を破棄する
- ④ 各キットに付属する蓋(フィルター、ノズル、チップ等)をチューブに装着する
- ⑤ 製品によってはそのまま一定時間静置する

※検査後は手を洗いましょう

<試料滴下>

- ① チューブから数滴(製品により異なる)、キットの検体滴下部に滴下する
- ② 製品毎に定められた時間(15分～30分程度)、キットを静置する

<結果の判定>

・判定の方法については、各製品の添付文書に加えて、判定結果を示している実際の写真が含まれている各製品のパンフレット、動画資料等を確認してください。

・試料の滴下を行ってから判定を行うまでの時間は、製品毎に異なります。指定された時間を過ぎた場合、キット上に表示される結果が変わることがありますので、各製品の添付文書を確認し、特に陰性と判定する場合には、必ず指定された時間で判定してください。(陽性の判定については指定された時間の前でも可能なキットもあります。)

・キット上に表示される結果が明瞭ではなく、判定が困難な場合には、陽性であった場合と同様に取り扱ってください。